

報道機関各位

令和8年1月29日

## 全国で唯一の栄誉

# 国立市公民館が「第78回優良公民館表彰」で 最優秀館(文部科学大臣表彰)を受賞！

～1月31日(土)には文部科学大臣来館のもと「共生社会コンファレンス」を開催～

国立市(市長:濱崎真也)は、昭和30年(1955年)の開館以来、市民とともに歩んできた「国立市公民館」が、文部科学省の実施する「第78回優良公民館表彰」において、全国の公民館の頂点である「最優秀館」に選出されましたことをお知らせします。

本表彰は、昭和23年度より開始された伝統ある表彰制度で、地域住民の学習活動に大きく貢献し、その内容や手法が特に優れている施設を称えるものです。開館70周年という記念すべき節目に、これまでの多岐にわたる活動成果が実り、東京都の推薦を経て、全国で唯一となる最優秀の評価を受けるに至りました。

この歴史的な受賞を象徴する事業として、1月31日(土)に、文部科学大臣および市長が出席する「共生社会コンファレンス@くにたち」(主催:文部科学省・一般社団法人真山舎)を国立市公民館にて開催いたします。

本表彰は、地域住民の学習活動に大きく貢献した施設を称えるもので、開館70周年の節目に、本市の「誰もがともに学びあう」共生の地域づくりが全国最高ランクの評価を受けました。当日は、大臣自らが「最優秀館」に選ばれた現場を視察し、市民との対話を通じて、これから社会教育のあり方を全国へ発信する極めて重要な機会となります。

この歴史的な快挙と大臣出席の注目イベントを広く周知したく、ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願ひいたします。

### 概要

#### 【共生社会コンファレンス@くにたち】

■日時 1月31日(土)午後1時～5時30分

■場所 国立市公民館(国立市中1-15-1)

■対象 市内外の教育関係者、市民、および報道関係者

- 備考
- ▶ 文部科学大臣出席の意義: 全国約1万3千館ある公民館の中から、わずか1館のみが選ばれる「最優秀館」への訪問は、本市の社会教育が全国から注目されていることを意味します。
  - ▶ 特に、文部科学省でも推進される共生社会の推進に向けた本市の取組は、日本のモデルケースとして注目されており、本イベントの開催もこれまでの取組の成果が認められて、開催される運びとなっています。
  - ▶ 取材を希望される場合は、事前に問い合わせ先までご連絡ください。

(つづきは裏面)

【第 78 回優良公民館表彰式】

■日時 2月6日(金) 午前10時30分~11時

■場所 文部科学省東館3階 第一講堂(千代田区霞が関 3-2-2)

■備考 取材を希望される場合は、事前に文部科学省の HP をご確認ください。



◀文部科学省 HP。

問い合わせ先

国立市 教育委員会 教育部 公民館  
TEL042-572-5141

@  
くにたち

# 共に学び、生きる 共生社会コンファレンス

～障害の有無をこえる「キョウドウ」の学びをひろげよう～

近年、「障害者の生涯学習」や「共生」が現代的なテーマになってきました。東京都国立市においても「リカバリーの学校@くにたち」(一般社団法人真山舎主催)が2023年から始まり、ともに学びあう「キョウドウ」の学びの機会が新たに生まれています。しかし、まだまだ障害者も生涯を通じて学ぶことができる機会は社会に不足しています。そこで、各地域でこうしたキョウドウの学びの輪を広げるために、「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」を国立市において開催します。どなたもお気軽にご参加ください!



## キーノートスピーチ

### 「なぜ障害者の生涯学習に取り組むのか」



津田英二さん

(神戸大学人間発達環境学研究科教授、文部科学省「障害者の生涯学習推進アドバイザー」)

## パネルスピーチ&トークセッション

### 「共に学ぶことの豊かさと難しさ」

大嶋尚史さん(東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課社会教育主事)

原恵子さん(金沢市菊川町公民館主事)

山本貫人さん(国立市公民館「コーヒーハウス」スタッフ)

土屋一登さん(「リカバリーの学校@くにたち(RGK)」コーディネーター、双極性障害当事者)

津田英二さん(神戸大学人間発達環境学研究科教授、文部科学省「障害者の生涯学習推進アドバイザー」)

モデレーター: 井口啓太郎さん(国立市公民館、文部科学省「障害者の生涯学習推進アドバイザー」)

## 分科会

### 「『生きづらさ』を抱える人と生涯学習 ～対話・学び・参画～」

コーディネーター

池田希咲さん(RGKコーディネーター)

高橋しのぶさん(社会福祉法人多摩棕櫚亭協会)

RGK参加者の方々

### 「ダイバーシティサッカーフィールド ～プレイフルスポーツ・コーディネーター」とは～」

コーディネーター

鈴木直文さん(一橋大学教員/ダイバーシティサッカーフィールド代表)

毛塚泰樹さん(一橋大学大学院生/ダイバーシティサッカーフィールド代表)

鈴木康正さん(一橋大学大学院生/ダイバーシティサッカーフィールド代表)

### 「社会教育行政・公民館が障害者青年学級を実施する意義とは」

東京都公民館連絡協議会、特別区社会教育主事会

助言者: 津田英二さん

## 日時

2026年 1/31 土 13:00-17:30

## 会場

### 全体会: 国立市公民館 地下ホール

(東京都国立市中1-15-1)※JR 国立駅南口徒歩5分程度

※分科会は各会場に分かれます。

## 参加費

なし

※懇親会参加費あり

## 合理的配慮について

合理的配慮についてのお問い合わせやご要望は、一般社団法人真山舎(さなやまや)までご連絡ください。

## 申込

右記のQRコード/URLから、またはメールで申し込みください。  
<https://forms.gle/kbMXJpDLaf0qm9s59>



13:00-13:20

## 開会挨拶・文部科学省の取り組み紹介

13:20-13:50

## キーノートスピーチ「なぜ障害者の生涯学習に取り組むのか」



津田英二さん

1968年生まれ。少年期を仙台、青年期を東京で過ごし、1998年に初めての職を得て神戸に移住。現在、神戸大学人間発達環境学研究科教授。2019年度より2023年度まで神戸大学附属特別支援学校校長も兼務。インクルーシブな社会に向かう教育実践をテーマとして、研究活動、教育活動、社会的実践を行なっている。専門は社会教育論、生涯学習論。

13:50-14:55

## パネルスピーチ＆トークセッション「共に学ぶことの豊かさと難しさ」



障害の有無にかかわらずともにキョウドウで学ぶとは、どのように成立するのでしょうか。その手前にもそもそも私たちが関わる学びの場はすべての人に拓かれているといえるでしょうか。共に学ぶことによってどんなことが生まれていくのでしょうか。こうしたギモンについて、登壇者と参加者のみなさんと一緒に考える時間にしたいと思います。

14:55-15:15

## 移動/休憩

「喫茶わいがや」のコーヒー出張販売

15:15-17:30

## 分科会

### [分科会1]

「『生きづらさ』を抱える人と生涯学習～対話・学び・参画～」



登壇者の対話を通じて、「生きづらさ」を抱える人と生涯学習についての学びを深めます。



会場 国立市公民館 3階講座室

#### コーディネーター

池田希咲さん (RGKコーディネーター)  
高橋しのぶさん (社会福祉法人多摩棕櫚亭協会)  
RGK参加者の方々

### [分科会2]

「ダイバーシティサッカーフィールド体験会～『プレイフルスポーツ・コーディネーター』とは～」



ダイバーシティサッカーが目指す対話や社会づくりを体験しながら学びます。



会場 国立学園小学校 体育館 (東京都国立市中2丁目6番地)

#### コーディネーター

鈴木直文さん  
(一橋大学教員/ダイバーシティサッカー協会代表)  
毛塙泰樹さん  
(一橋大学大学院生/ダイバーシティサッカー協会プレイフルスポーツ・コーディネーター)  
鈴木康正さん  
(一橋大学大学院生/ダイバーシティサッカー協会プレイフルスポーツ・コーディネーター)

### [分科会3]

「社会教育行政・公民館が障害者青年学級を実施する意義とは」



事例報告などを通じて、特に「モヤモヤ(課題)の種」に焦点を当てて議論を深めていきます。



会場 国立市公民館 地下ホール

#### コーディネーター

東京都公民館連絡協議会、特別区社会教育主事会

#### 助言者

津田英二さん

18:00～

## 懇親会(1時間30分程度)

- 内容：懇親会は、自由なご歓談だけでなく、分科会の成果共有や参加者交流等をゆるやかなモードレートにより実施します。
- スペースコウヨウ 6階 \* 公民館隣のビル(東京都国立市中1-15-2)
- 参加費：2,000円(懇親会参加者のみ、当日お支払い)